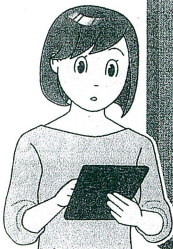


M&I 生活設計と資産運用

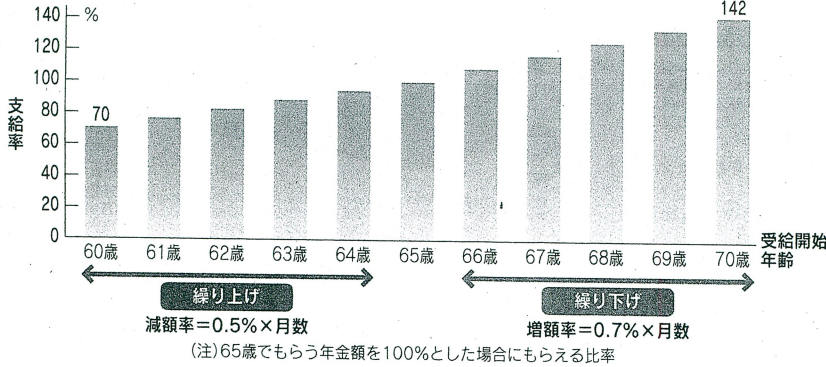
。年金をもらい始める年齢は生年月日で違うんだ。
。受給年齢を早めたら年金は減って、遅らせたら増えるのね。
。会社員は現役時代の収入が多いほど、年金は増えるのか。



年金受給は何歳から？

生年月日		受給開始年齢					
男性	女性	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳～
1949年4月2日 ～53年4月1日	1954年4月2日 ～58年4月1日	厚生年金					
53年4月2日～ 55年4月1日	58年4月2日～ 60年4月1日	基礎年金					
55年4月2日～ 57年4月1日	60年4月2日～ 62年4月1日						
57年4月2日～ 59年4月1日	62年4月2日～ 64年4月1日						
59年4月2日～ 61年4月1日	64年4月2日～ 66年4月1日						
61年4月2日～	66年4月2日～						

受給開始年齢を変更するといくらもらえる？



厚生年金額は現役時代の収入と加入期間で決まる

$$\text{厚生年金額の概算} = \text{平均標準報酬月額} \times \text{生年月日などで決まる乗率} \times \text{加入月数}$$

おかね私流

お金には細かい性格です。海外旅行をする、チップを1ドルにしようかと2ドルにしようかかなり悩むことがあります。スーパーでポイントカードを忘れて、3%割引にならなかったと深く後悔すること。細かいことに気を配れないと、大きなお金は動かせなれないと思います。

長い間ディーラーとして会社で多額のお金を運用してきたので、会社を辞めて自身の運用を始めたときはリスクを取りすぎるのではと懸念しました。実際、一晩で自己破産するかもと冷やっとした経験もありました。資産規模に見合った運用ができるまで6、7年かかりました。

資産は海外の金融商品と投資用不動産です。不動産は一つの



参院議員
藤巻 健史さん

相続で苦勞、着実に生前贈与

ふじまき・たけし 1950年東京都出身。三井信託銀行、モルガン銀行などを経てフジマキ・ジャパン代表取締役。モルガン時代は「伝説のディーラー」と呼ばれた。

土地の20分の1など毎年少しずつを30歳と27歳の息子に贈与しています。始めたのは20年以上前。息子たちが小さいころは祖父母に特別代理人になってもらいました。路線価を参考に、息子たちが賃貸収益から贈与税を払えるよう考えながら渡してきました。

贈与のきっかけは、妻の父親の相続で大変な苦勞をしたからです。義父が亡くなったのは1988年。バブル景気だったので、高騰した土地の相続税負担が重く、延納しながら毎年払っていました。日本に極度のインフレが起きて相続税の改正が遅れば、税負担は大変なものになるのではないのでしょうか。

贈与してきた結果、すべての物件が共有名義になっていきます。将来、息子のどちらかが売却したいときなどにもめる可能性もあるので、等価交換をして単独名義にするよう促すつもりです。登記費用などは必要かと思いますが、相続税で苦勞するよりはいいでしょう。